

下呂市行政改革の位置づけ

下呂市行政改革は、第4次下呂市行政改革大綱及び答申書の付帯意見に則して実施されています。

第4次下呂市行政改革大綱は、下呂市の最上位計画である「第2次下呂市総合計画」の3つの重点プロジェクトの②行財政改革推進プロジェクトに位置づけられる重要な指針です。

①人口減少対策プロジェクト

②行財政改革推進プロジェクト

③地域づくりのしくみプロジェクト

行財政改革推進プロジェクト(具体的な施策)

1. 無駄な出費を抑える
- ・事務事業の選択と集中
 - ・補助金の見直し
 - ・公の施設の見直し

2. 安定的な収入の確保
- ・安定した税収を確保
 - ・新たな財源の研究
 - ・受益者負担の見直し

3. 効率的な行政組織
- ・行政組織の見直し
 - ・職員の意識改革、能力UP

4. 協働によるまちづくり
- ・地域との協働による事業展開
 - ・民間活力の導入
 - ・受益者負担の見直し

委員会付帯意見

第4次行政改革大綱 (基本方針)

1. 持続可能な財政基盤の確立に向けた財政運営の改革
 - ・事務事業の選択と集中、民間活力の導入と推進
 - ・安定した財政基盤の構築・計画的な財政運営
 - ・新たな財源の調査研究と自主財源の確保
 - ・地方公営企業等の経営健全化の推進
 - ・市民意識の把握と情報発信
2. 効率性・機能性を重視した組織の改革
 - ・経営効率を図る組織・体制
 - ・職員の適正化
 - ・危機管理体制の強化
 - ・市民や地域を育てる組織
3. 強い意欲と高い能力をもった人材を育てる人づくりの改革
 - ・人材育成に繋がる人事管理
 - ・職員の意識改革と能力開発
 - ・市民の意識改革

事務事業のスクラップ&ビルド
民間委託の推進
厳しく見極めて

人口減少対策、
ふるさと寄付金
など積極的推進

限られた人員で
最大の効果。AI、
RPA、ICT などの
利活用を

地域リーダーの育成、
地域に根付く、
魅力ある町作りを

地域から信用・信頼される職員を目指して、
職員の人材育成を

第4次行政改革実施計画

大綱に基づく改革の着実な推進に向け、大綱の3つの基本方針に基づき「実施計画」を策定し、全庁挙げて推進します。

行革推進委員の役割

- ・委員会は、市長の諮問に応じて、下呂市の行政改革の推進に関する重要事項を調査審議する。〈大綱の答申をしました〉
- ・大綱、実施計画の進捗について意見する。

下呂市行政改革推進委員の関わる部分